

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

Rotary 



2016～2017年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 長 新見 和男	第2479例会	2016/ 7/11
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 渋谷 廣慶	発行日	2016/ 7/25
例会日：月曜日12:30～13:30	会報委員長 平岡 健太	会報当番	平岡 健太

会長あいさつ

会長 新見 和男

皆様、こんにちは。先週開催されました初例会におきましては、皆様のご協力を賜り、滞りなく終了することが出来ましたこと、あらためて深く感謝致します。有り難うございました。



初例会の議事が進行していくにつれ、大宮西ロータリークラブの会長として全うできるのだろうか？一年間の責務を果たしていけるのだろうか？という心境になりました。

しかし、ここで立ち止まるわけにはいきません。まだまだ慣れない私ですが、会長としての任務を着実に果たしていき、当クラブの更なる躍進に貢献していきたいと思っております。

本日の例会から本来のロータリー活動がスタートするわけでございます。この活動を円滑に進めていくためにも会員同士の親睦を深めることが大切だと思います。どうぞ親しく交流されますこと宜しくお願い致します。尚、藤池会員より今期のテーマを書いた垂れ幕を無料で提供頂きました。有り難うございました。

さて、本日は部門委員長、委員長の方針発表です。どうぞ宜しくお願い致します。

幹事報告

幹事 渋谷廣慶



■先週は初例会で少々遠慮しておりましたが、クラブ週報の間に会費（上期）「会費納入についてのお知らせ」を差し込ませていただきました。地区分担金等7月に処理される経費も多

く、なるべくお早目をお願い致します。

■今週も各部門の部会が開催されますが、出来るだけ所属部会の会合に出席して下さい。

以上です。

委員長報告

伊田雄二郎 パスト会長



8/24(水)18:30～ 清水園にて、濱野英美パストガバナーを偲ぶ会がございませう。登録料は8,000円で個人負担となります。ご希望の方は7月末までに私、又は事務局までご連絡下さい。

青少年奉仕部門委員会

小沢 孝 委員長



本日、例会前に青少年奉仕部門委員会を開催致しました。会場は武蔵野銀行本店2F会議室にて。また、「フレッシュ高校生感動体験プログラム」といった地区からのご案内がございませう。職業体験を11月頃に5日程、会員さんの企業にて職場体験の協力頂ける企業を募集致しませう。締切は7月20日までとなっております。

直前国際奉仕委員会

冷牟田正見 委員長



6月22日からラオフレンズ小児病院に8名のメンバーで視察に行つて来ませう。

昨年、当クラブで寄贈した車はラオフレンズのメインの活動であるモバイルクリニックで、病院から60kmも離れた山岳地帯の子供達に医療を届ける為、悪路の中を毎日活躍してしましませう。

また日中は40℃にもなる暑さの中、その道中トイレもなく食事道端で済ませる病院スタッフ

親睦と奉仕そして人づくり

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



のご苦勞を垣間見、山岳地帯の少数民族では妊婦は米しか食してはならないなどの迷信もあり栄養失調で命を失う子供達も多く、正しい知識を数えるところから活動し、病院から30km程にある分院では、ピーナッツと砂糖、油で固めた500カロリーの栄養食、サバ缶、牛乳などを配給しています。

今後ラオフレズ小児病院では、スタッフの知識向上の為、タイの大学とパートナーシップを結び質の高い研修を受ける事を願っており、当クラブでの継続支援を希望されていました。



左から永井 博、押野一郎、大楽 剛、冷牟田正見、竹内雅人、井上勝美、山崎一祥、各会員

ロータリーの友

広報・雑誌委員会
榎本貞寿 委員長



①R I 会長メッセージ<P 7> R I 指定記事
ジョン・ジャーム R I 会長の年度当初のメッセージでは、「人類に奉仕するロータリー」という大きなテーマを掲げ、ポリオ撲滅という長年にわたる活動の成功に向けた準備をしようと言っています。若い会員や引退したばかりの人、在職中の人にも魅力の感じられる柔軟なクラブとなり多くのパートナーを探し協力して活動を進めようと呼びかけています。一つひとつの奉仕がより良い世界をつくり、新しいチャンスを持っていると語っています。

②チャタヌーガを支えて生きる<P 11~14>
ジョン・ジャーム氏の地元であるチャタヌーガでの活動を中心に、家族やこれまでの活動について詳しく書かれています。彼の人柄や奉仕への取り組みがよくわかります。伝説的な募金の達人で、ホワイトハウスで表彰されたアメリカの12人のロータリアンの1人です。会長となる今年度のテーマには、(人類に奉仕するロータリー)という簡潔で実直な3語を選びました。「ロータリーはあまりに長い間、その素晴らしさを隠し続けて着ました。私たちの活動をもっと多くの人に伝える必要があります。これは、課題ではありますが、問題ではありません。信じるのは機会だけです」とジャーム氏は述べています。

人類に奉仕するロータリーを実現するため、活動を進めていくためのさらに多くの自発的な支援の手、いたわりの心、聡明な頭脳、より多くの理解者を得るために、今、広報が重要視されていると思います。

また、今年度はロータリー財団100周年に当た

るため、1917年にカンザスシティー・RCが初めて寄付した26ドル50セントにちなみ、各クラブにポリオ撲滅に最低2650ドルを寄付するように求めています。

③R I 理事メンバー紹介<P 19><P 40>

日本から斎藤直美氏が2016~18年度の理事として紹介されています。豊田RC会員で、職業分類は外科医です。P40には「理事に選出されて」と題してこれからの課題や決意が書かれています。

④ガバナーの横顔<P 25>

全国34地区のガバナーの紹介です。当第2770地区の浅水ガバナーは「良いと思うものを求めて」と題して紹介され、経歴や趣味そして今年度にかける思いを述べられています。

⑤ロータリー財団100周年を祝う<P 44・45>

財団の歴史に関する説明や、周年を祝う行事のアイデアが提案されています。

⑥心は共に<P 50~53>

今年起こった熊本地震への各クラブの支援活動と2011年に起きた東日本大震災への支援活動が報告されています。

【縦組みから】

①地域医療の取り組み<P 4~8>

第2500地区のIMでの特別講演の要旨です。

歯科医であるロータリアンが地域において、どのように職業奉仕を実践しているかという報告です。

「まず できることからしていこう」と前向きな姿勢で地域医療に取り組み、様々な業種の方々と連携し着実に素晴らしい成果をあげられています。是非ご一読をお薦めします。

②友愛の広場

P14: RYLAとRYLA学友会

兵庫県第2680地区ではRYLAを第2670地区と共催し長年に亘り素晴らしい成果をあげています。毎年決まった場所で3泊4日で行い2000人近いRYLA学友が誕生したそうです。

③卓話の泉

P17: 認知症は怖くない

当地区でも昨年度は認知症に取り組みましたが、分かり易く解説されています。

中高年になっても脳は使えば使うほど、神経細胞は日々増殖するそうです。横組みP55にパズルが有ります。毎月10人にロゴ入りのオリジナルUSBが貰えます。マンネリを防ぐよう努力しましょう。

④ロータリーアットワーク

多くの活動が報告されていますが、

「ときめきコンサート 子どもとJAZZ」「食育の大切さを絵本と紙芝居で」「保育園児の和太鼓演奏で地域交流」「スマホ・ケータイ安全教室を開催」「清流回復のため保育園児とサケの放流」など青少年への活動が多く掲載されています。

P22 創立50周年を迎えたさいたま中央RC、芸術劇場に像を寄贈し、(我等は元気)というさいたま中央RCの歌も作ったそうです。

P26第2770地区は第2570地区と合同で、2月5～7日「恒例のスキーキャンプを実施」の記事が出ています。北欧系の学生はさすがの滑りを披露、ブラジルの学生も1日が終わるころには若さゆえ、それなりになったようです。他、各地区からの記事が掲載されています。お目通し宜しく願いいたします。

例会主題：部門委員会方針

■長期計画委員会 委員長 内山泰成



今年度長期計画委員会を担当させていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。昨年度まで未来計画委員会を改に長期計画委員会として地区の運営方針にもあるようにクラブの戦略計画を立案する事を中心に委員会を進めてまいります。クラブ間の意思統一を図り、クラブビジョンに掲げた「活力に満ち感動あふれる地域一番のクラブ」になるよう委員会メンバー共々頑張りたいと思います。皆様のご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

■クラブ管理運営部門 委員長 小木曾賢己



クラブ管理運営部門といたしましては、効果的なクラブ作りを進めて参ります。増強・親睦・研修、三つの大きなプロジェクトを通じてクラブの活性化と、次世代リーダーの育成に努めます。

■プログラム委員会 委員長 小島 徹



クラブを管理運営するに当たりまして重要な点は、明るく楽しくそして充実感にあふれた活気のあるクラブにすることにあります。それには年間を通じてR I方針、地区方針、会長方針に沿った魅力あるプログラムを作成することが、この委員会の役割と考えております。

1. 内部、外部 卓話の充実
 - ・年度計画に沿った卓話
 - ・旬な話題(世界盆栽大会等)
 - ・十分な時間の確保(SAAとの連携)
2. 移動例会の充実(職業奉仕委員会)(社会奉仕委員会)
3. 親睦委員会との密な連携(旅行、夜間例会等)
4. 得意活動の更なる充実(ピンクリボン運動、鉄博ナイトミュージアム)
5. イニシエーションスピーチと夜間例会(会員間の相互理解を深める)

■親睦委員会 委員長 藤嶋剛史



「寸劇の巨人」染谷前委員長(映画「進撃の巨人」にかけたのですが…つまらなくてすみません)の後任という事で、重責ですが精いっぱい務めて参ります。親睦はロータリーの出発点であり、奉仕の心を育む原動力であると考えます。急速に会員が増える昨今、活力に満ち感動あふれるクラブを目指すためには、新旧また世代を超え、より早く、深く、会員同士が心の通じあう仲間となる必要があります。そのためにはまず、一人でも多くの会員に親睦の場へ参加いただけるよう、一つひとつの例会等に対し、「参加したくなる」を念頭に置き企画運営してまいります。また家族例会では、会員間のみならず、ロータリー活動の支えであるご家族との絆を深め一層のご理解へとつながるよう、楽しく盛大に開催したいと思います。親睦は皆様の参加があってはじめて成り立ちます。参加意欲を高める魅力ある例会を参加者目線で企画し、告知や声掛けにも力を入れ、一人でも多くの参加を目指して参ります。皆様のご理解・ご協力を切にお願いいたします。

■出席委員会 委員長 永井伸剛



今年もキャッチフレーズ「チャレンジ100」の下に、出席率90%以上を目標に、一年間活動致します。

- ①クラブ管理運営部門(プログラム、親睦、会員研修)との密な連携を取り、楽しい仲間の例会とし出席率の向上を促進する。
 - ②例会出欠席をもとに分析し連携を取り、出席率の向上に努める。
 - ③その他、メイクアップのお願いにより出席率の向上に繋げる。
- 今年度も集計間違いが無いように注意して活動致します。皆様のご協力を宜しくお願いします。

■会員研修委員会 委員長 木本栄一



今年度会員研修委員会委員長を拝命致しました。会員の皆様にはロータリーについてより理解を深めて頂き、ロータリーを楽しんで頂きたいと考えております。

1. ロータリー情報研究会出版の冊子「これだけはっておきたいロータリーの基礎」を会員全員に配布致します。身近な処に置いて頂き参考にして下さい。
2. 我がクラブの所属する2770地区はニナナナゼロ地区と言わず、ニセンナナヒャクナナジュ地区と呼んで下さい。森田武司パストガバナー一年度(2005～2006年)に議論がありまして、以来ニセンナナヒャクナナジュ地区と呼ぶと地区全体での同意が成されたこと記憶しております。以上よろしくお願い致します。

委員長報告追加

青少年奉仕委員会 坂本哲朗 委員長



青少年派遣の件について。